平成 25 年 7 月 25 日

各　　位

会 社 名　　株式会社ネットプライスドットコム
代表者名　　代表取締役社長 兼 グループ CEO　　佐藤 輝英
（コード番号 3328 東証マザーズ）
問合せ先　　代表取締役副社長 兼 グループ CFO　　中村 浩二
電　　話　　03－5739－3350

業績予想との差異に関するお知らせ

平成25年5月31日に発表した業績予想と、本日公表の実績との間に差異が発生いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

１．平成25年9月期 第3四半期累計期間 連結業績予想との差異（平成24年10月１日～平成25年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当り当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	7,822 ～8,022	△53 ～6	219 ～279	141 ～201	1,263.67 ～1,801.40
実 績 値 （ B ）	7,802	△84	184	84	755.38
増 減 額（B－A）	△220 ～△20	△90 ～△31	△95 ～△35	△117 ～△57	－
増 減 率 （ % ）	△2.7 ～△0.2	－	△34.0 ～△15.9	△58.2% ～△40.4%	－
（ご参考）前年同四半期実績	7,721	△149	△84	△203	△1,831.60

２．平成25年9月期 第3四半期累計期間 連結業績予想との差異の理由

(1)E コマース事業

①ギャザリング部門

前年度から注力してきた価値訴求と価格訴求のバランスを図ることにより、顧客のリピート率を向上させ、またオリジナル商品の開発や、定期購入等の販売手法の導入等により粗利益率を向上させることができましたが、一方で新規顧客数の拡大に課題が残り、売上高は横ばいに留まったためプロモーションコストを吸収できず赤字幅が拡大いたしました。

②バリューサイクル部門

足元の買取が好調な状況を考慮し、下期における買取と販売のバランスを第 3 四半期を買取強化、第 4 四半期を販売強化と位置付ける方針にいたしました。その結果、第 3 四半期においては、買取コストが先行する四半期となったため営業損益が赤字となりました。

③クロスボーダー部門

アメリカ、イギリスに次いでドイツの商品の取り扱いを始めるなど対象地域と取扱商品の拡大とサイト最適化によるお客様の利便性の向上に取り組みました。また SEO を軸とした集客基盤の強化により来訪者数も増加いたし

ましたが、為替の円安基調の継続が影響し購入率が低下したため売上高が計画を下回り、営業損益も赤字となりました。

(2)インキュベーション事業

スマートフォン向け新規事業のサービス開始が計画より遅れたため、当該事業の売上がなく費用が先行し赤字が増加いたしました。

以上の結果、営業利益、経常利益、当期純利益が前回発表予想を下回る結果となりました。

以上